（様式第２号）

ほっとかへんネット課題対応プロジェクト助成提案書

【法人連絡協議会名】

【担当者所属・職・氏名】

【助成を必要とする事業の内容】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ●　申請事業名称＊事業内容を端的に示す名称 | | | |
|  | | | |
| 事業に参加  予定の法人数 | 構成法人数 | | 左のうち事業参加法人数 |
| ・社会福祉法人　　　　　　　法人  ・その他（　　　　）　　　　法人  　計　　　　法人 | | ・社会福祉法人　　　　　　法人  ・その他　　　　　　　　　法人  　　　　　　　　計　　　　法人 |
| 申請事業の背景・目的 | ➊　解決したい地域生活課題・ニーズ | | |
|  | | |
| ➋　プロジェクトの目的  ※申請事業が最終的に何を目指すのかを簡潔に記載 | | |
|  | | |
| ➌　チャレンジすることや工夫しようと考えている点 | | |
|  | | |
| 申請事業の内容 | ➍　実施する内容を具体的に記載 | | |
|  | | |
| 事業の進め方  （スケジュール） | 実施時期 | 実施内容 | |
| 年　　月 |  | |
| 年　　月 |  | |
| 年　　月 |  | |
| 年　　月 |  | |
| 年　　月 |  | |
| 年　　月 |  | |
| 年　　月 |  | |
| 年　　月 |  | |
| 実施体制 | ●　想定されている関係機関・団体とその役割分担 | | |
|  | | |
| プロジェクト・事業による効果 | ●　実施後に期待される具体的な成果 | | |
|  | | |
| ●助成終了後に事業をどのように継続（体制や資金面含め）し、  発展させていくのか | | |
|  | | |

**【予算の内訳】**

**１　収入の部**

|  |  |
| --- | --- |
| 項　　目 | 金　　額 |
| 助成金額 | 円 |
| 自己負担額 | 円 |
|  | 円 |
|  | 円 |
|  | 円 |
|  | 円 |
| 計 | 円 |

**２　支出の部**

|  |  |
| --- | --- |
| 項　　目 | 金　　額 |
| 諸謝金支出 | 円 |
| 旅費交通費支出 | 円 |
| 賃借料支出 | 円 |
| 消耗品費支出 | 円 |
| 印刷製本費支出 | 円 |
| 通信運搬費支出 | 円 |
| 業務委託費支出 | 円 |
| 資料購入費支出 | 円 |
| 広報費支出 | 円 |
| 租税公課支出 | 円 |
| 手数料支出 | 円 |
| 車輌運搬具取得支出 | 円 |
| 器具及び備品取得支出 | 円 |
|  | 円 |
| 計 | 円 |

（注）収入の計と支出の計は一致する。

（様式第２号）

記入例

ほっとかへんネット課題対応プロジェクト助成提案書

【法人連絡協議会名】**○○市社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット○○）**

【担当者所属・職・氏名】**○○市社会福祉協議会　地域福祉課　課長　○○　○○**

【助成を必要とする事業の内容】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ●　申請事業名称＊事業内容を端的に示す名称 | | | |
| 空き家・空き店舗を活用  『地域イキイキ化』連携推進事業 | | | |
| 事業に参加  予定の法人数 | 構成法人数 | | 事業参加法人数 |
| ・社会福祉法人 　**２８**法人  ・その他（　　） 　　**０**法人  計　　**２８**法人 | | ・社会福祉法人 　**２８**法人  ・その他（NPO） 　　**１**法人  計　　**２９**法人 |
| 申請事業の背景・目的 | ➊　解決したい地域生活課題・ニーズ | | |
| * **人口減少社会の中で、地方における空き家の増加が急速に進んでおり、大きな社会課題となっている。** * **多くの自治体で空き家や空き店舗の増加が地域の課題となっており、兵庫県でも「空き家活用支援事業」を実施し地域交流拠点などへの活用に力を入れている。** * **一方で、コロナの影響もあり、地域交流活動・活動場所は減少し、閉じこもりがちな高齢者も増加しており、フレイルの進行も懸念されている。** | | |
| ➋　プロジェクトの目的  ※申請事業が最終的に何を目指すのかを簡潔に記載 | | |
| * **閉じこもりの課題やひきこもりの問題と、空き家等の課題を結び付けて、解決に向けた協議や取組みを促進・支援する。** * **地域交流拠点の担い手の問題もあるが、法人職員が関わることで、居場所づくりや相談支援にとどまらず、法人での中間的就労の受け入れや法人が実施する行事などへの参画など、更なる広がりがを期待する。** | | |
| ➌　チャレンジすることや工夫しようと考えている点 | | |
| * **上記の課題に関係する機関・団体に呼びかけを行い、まずは現状を知り合う機会として勉強会などを開催し、我が町を何とかしたいという機運を高めていきたい。** * **活動や事業化が目的にならないよう、しっかりニーズに基づく事業展開を進めたい。** | | |
| 申請事業の内容 | ➍　実施する内容を具体的に記載 | | |
| **●空き家等の活用によるみんなの居場所づくりのための勉強会の開催**  **現状や課題を把握するとともに、取り組みを進めるうえでの方向性の共有を目的に開催する。**  **考えられる関係機関・団体、行政にも参加を呼びかけ、プロジェクト会議の発足に向けた機運の醸成と社会福祉法人の連携によって取り組むことができる可能性を探る機会とする。**  **●「○○プロジェクト会議」の開催（６回以上予定）**  **●先進地への視察**  **●候補となる空き家の現地視察（随時）**  **●関係機関・団体との調整（随時）**  **居場所を活用してもらえる団体なども巻き込みながら進めていく。**  **●活用可能な補助金や助成金についての情報収集** | | |
| 事業の進め方  （スケジュール） | 実施時期 | 実施内容 | |
| **２０２５年８月** | **・現状把握のための勉強会を開催**  **・関係機関・団体を集め、課題と取組みの方向性の検討を進める。** | |
| **２０２５年９月** | **・第１回○○プロジェクト会議**  **プロジェクトリーダーの選任**  **プロジェクトの進め方の確認**  **関係機関との意見交換①** | |
| **２０２５年１２月** | **・第２回○○プロジェクト会議**  **先進地の視察について**  **関係機関との意見交換②** | |
| **２０２６年１月** | **・先進地視察** | |
| **２０２６年２月** | **・第３回○○プロジェクト会議**  **視察の振返り**  **関係機関との意見交換③** | |
| **２０２６年４月** | **・第４回○○プロジェクト会議**  **実施に向けた課題整理**  **次年度の動きの確認（スケジュール・予算等）** | |
| **２０２６年７月** | **・第５回○○プロジェクト会議**  **開設に向けた準備**  **地域住民等への周知・広報について** | |
| **２０２７年１月** | **・「みんなの居場所○○」の開設**  **・第６回○○プロジェクト会議**  **運営に関する課題整理と対応**  **今後の展開に向けて** | |
| 実施体制 | ●　想定されている関係機関・団体とその役割分担 | | |
| * **民生委員・児童委員協議会** * **居場所運営団体（NPO）**   **（期待する役割）　すでに実施している居場所の運営方法等のノウハウの**  **提供や運営協力**   * **ひきこもりサポートセンター** * **教育委員会**   **（期待する役割）　ひきこもり状態にある子どもや家庭に対する情報提供**  **と学習機会の確保等への協力**   * **地域包括支援センター（介護予防）**   **（期待する役割）　閉じこもり高齢者等、包括が実施する予防事業との連動**   * **○○市定住推進課**   **（期待する役割）　行政が実施する施策との連動と運営協力** | | |
| プロジェクト・事業による効果 | ●　実施後に期待される具体的な成果 | | |
| * **居場所という地域の交流拠点ができることで、集う場所、集うグループとほっとかへんネットと接点が生まれる。** * **拠点があることで、高齢者に向けた介護予防、学齢期のひきこもりの子dも達に対する学習サポートなどが実施できる。** * **このようなつながる基盤があることで、社会福祉法人がもつ、専門的な知識や技術が活かされ、相談支援や中間就労などの支援の取組みが広がることを期待する。** * **さらには、このノウハウにより、各社会福祉法人が独自に拠点づくりやその活用に協力していくことも期待したい。** | | |
| ●助成終了後に事業をどのように継続（体制や資金面含め）し、  発展させていくのか | | |
| * **居場所の利用や管理を社会福祉法人だけに限らず、当事者団体や家族会などに広げ、運営者や関係者を常に増やしていく意識が必要である。** * **行政が行う補助金や助成制度の継続的な活用も必要であるが、ほっとかへんネットのような複数の連携によって、運営の負担を軽減することも期待し、継続した関わりをすすめたい。** | | |

**【予算の内訳】**

**１　収入の部**

|  |  |
| --- | --- |
| 項　　目 | 金　　額 |
| 助成金額 | **300,000円** |
| 自己負担額 | **181,000円** |
|  | 円 |
| **助成金額の上限は３０万円** | 円 |
|  | 円 |
|  | 円 |
| 計 | **481,000円** |

**２　支出の部**

|  |  |
| --- | --- |
| 項　　目 | 金　　額 |
| 諸謝金支出 | **50,000円** |
| 旅費交通費支出 | **10,000円** |
| 賃借料支出 | **70,000円** |
| 消耗品費支出 | **150,000円** |
| 印刷製本費支出 | **20,000円** |
| 通信運搬費支出 | **15,000円** |
| 業務委託費支出 | **110,000円** |
| 資料購入費支出 | 円 |
| 広報費支出 | **50,000円** |
| 租税公課支出 | **1,000円** |
| 手数料支出 | **5,000円** |
| 車輌運搬具取得支出 | 円 |
| 器具及び備品取得支出 | 円 |
|  | 円 |
| 計 | **481,000円** |

（注）収入の計と支出の計は一致する。

**収入合計と一致**